

島根県立石見美術館

コレクション展「シンプルという概念」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「シンプルという概念」を下記のとおり開催いたします。

記

1. 会 期 平成 29 年 9 月 6 日(水)～11 月 6 日(月)

休館日：毎週火曜日（ただし 10 月 3 日は開館）

開館時間：10:00～18:30（展示室への入場は 18:00 まで）

2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室C（グラントワ内）

3. 展覧会概要及び見どころ

「シンプル」という言葉は、普段の生活でも比較的良好に耳にする言葉です。「簡単な」「単純な」という意味で、一般に「飾り気や無駄をはぶいた簡素なさま」をさします。生活スタイルやデザインなどの形容詞に用いられ、洗練や進展を表す良い意味で使われることが多いようです。

美術の世界では、目の前のものを「写し取る」という基礎の段階から、独自の芸術に発展させていく道筋において、一概に全てがそうだとは言えませんが、各々の感じる「余分」をそぎ落とし、対象の本質のみを表現していこうとする意識が生じることがあり、自然とシンプルな志向性にむかう傾向があります。今回は、敢えて単純なものを題材に選択し写実を追求した絵画や、色や線など限られた手法で仕上げた絵画。また、形を求道し、独自の世界観を打ち出した彫刻など、様々な「シンプル」の形をご紹介します。（展示点数 約 12 点）



左：小堀鞆音《舞楽図屏風》左隻 明治末～昭和初期 紙本金地著色



右：澄川喜一《そのりのあるかたち 05》

2005 年 神代櫨・櫨・檜